

平成30年度第2回米子市学校給食運営委員会議事録概要

- 1 開催日時 平成30年7月6日（金） 9：30～12：05
- 2 開催場所 米子市立第二学校給食センター 2階 会議室
- 3 出席者
＜米子市学校給食運営委員会委員＞
雑賀委員（会長）、佐伯委員（副会長）、藤澤委員、松田委員、中上委員、坂井委員、
藤原委員、後藤田委員、河本委員、中山委員、増田委員
＜事務局＞
学校給食課 山中課長、足立施設長、野口課長補佐、堀部主幹、山下栄養教諭、
野村学校栄養主任
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 議事
 - ア 調理業務の検証
 - ① 米子市立第二学校給食センター調理場の見学
 - ② 学校給食の衛生管理について
 - イ 学校給食アンケートについて
 - ウ 給食試食
 - エ いきいき こめっこ プロジェクトについて
 - (4) その他
 - (5) 閉会
- 5 議事の概要
(注：事務局の説明は省略しています。また、発言は要約しています。)

事務局（山中課長）

それでは、これより調理場の見学を行いたいと思います。

始めに、現在1階の調理場の方で給食の調理を行っておりますので、その様子を見学ホールの方からご覧いただきたいと思います。その後で、この会議室に帰っていただきまして、第二学校給食センターの施設概要と衛生管理について、ご説明をさせていただきますいております。

では早速ですけれども、委員の皆様、1階の見学ホールの方へお越しいただきますよう、よろしく願いいたします。

[一階の見学ホールから調理状況を見学した。]

事務局（山中課長）

皆様、お疲れ様でございました。そうしますと、この後は、米子市立学校給食共同調理場条例施行規則第6条第1項により、雑賀会長に議長を務めていただきたいと思います。議事の進行をよろしく願いいたします。

議長（雑賀会長）

それでは、次第に従いまして、3 議事の（1）調理業務の検証の ア 米子市立第二学校給食センター調理場の見学が終わりましたので、イ の学校給食の衛生管理について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局（足立施設長）

それでは、少しだけ時間をいただいて、せっかく資料も皆様のお手元に届いているということでございますので、簡単ですけど概要を説明させていただきます。

[米子市立第二学校給食センターの概要について説明した。]

事務局（野口課長補佐）

では、続いて、衛生管理についての説明をお願いします。

事務局（野村学校栄養主任）

パワーポイントを使いながら第二学校給食センターの衛生管理について、少しだけお話しさせていただけたらと思います。施設長が話したと重複してしまう部分もあるかもしれませんが、聞いていただけたらと思います。

[米子市立第二学校給食センターにおける衛生管理について説明した。]

議長（雑賀会長）

ただ今の説明について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

議長（雑賀会長）

よろしいでしょうか。

事務局（山中課長）

そういたしますと、事務局からですけれども、先程の説明に出ておりました作業動線図や作業工程表、チェック表などをこちらに用意しておりますので、この後、試食を始めていただく前にご覧いただき、確認をお願いします。

議長（雑賀会長）

よろしいでしょうか。

では、ご意見、ご質問はないようですので、次の議題の（2）学校給食アンケートについて事務局から説明をお願いいたします。

事務局（野口課長補佐）

そういたしますと、学校給食アンケートについてご説明いたします。事前にお配りしております学校給食に係るアンケート調査の実施案についてという3枚ものの資料をご覧ください。

[学校給食アンケートの実施案について説明した。]

議長（雑賀会長）

学校給食に係るアンケート調査についての説明をしていただきました。何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

河本委員

まず、最初に昨年場でこういうことができないかといくつかリクエストをしたことが、可能なかぎり反映して改善されている状況ですので、そこには感謝をしたいと思います。

で、もう数点改めて考えてみてと思うのが、まず、問2ですが、去年は2つまでというところが、今年はすべてというところで改善されているのはよく分かるのですが、順位が一番は何か分かるように、昨年、順位を付けられませんかと言ったら、ちょっと苦しいですということだったので、じゃあ1番だけ何かピックアップしてとらえることが出来ないかなあというようにリクエストです。

で、問2は、「すき」または「どちらかというとき」なのですが、是非お願いをしたいのが、問6の残す理由について、主たる理由を見付けることが出来ないかなあということです。

見つけ方としては、1つの案は1番の理由だけ、別にどこかの四角に書いて、それ以外の2つ目、3つ目、4つ目とかをまとめて別のところに書くというふうにすると、まだ分かるかなあと思うのが案の1です。もう1つの案は、クロス集計を去年されているので、クロス集計の中で、問6をからめることが出来ないでしょうかということが案の2です。というのがまず1点目です。

それから、問5ですが、改めて考えると、(2)「ほとんど残さない」と(3)「ときどき残す」というのは、どう違うイメージでここを作られているのかなあという、おそらく順位が2なので、「ほとんど残さない」というのが本当に少ししか残さないということだと思うのですが、国語がよく分からなくて。時々残すのと毎日残すのは、何か理由が違うのではないかという、それをいくらかの答えの中で、どれが影響しているのか分からないような見つけ方というのは、もう少し工夫が出来ないかなあというのが、これが2つ目です。

3つ目に絡むのが同じく問6ですが、問5で(3)から(5)に○を付けた人に聞きますということがありますが、先程の私の理解不足で(2)と(3)があまり変わらないというイメージでいくと、(2)から(5)に○を付けた人に聞くというような設定はできないものかなあというのが、3つ目です。

最後、4つ目ですが、問9の1の文章で、これは小学校の先生の方に聞いてもらった方がいいのかもしれませんが、「米子市でとれる産物を知っていますか」の前に、給食の食材の中でよく使われる米子市でとれる産物とか、そういうふう限定してあげた方が、間違える子どもはそんなにはいないかもしれませんが、いいのではないかなあと思います。

すいません、可能かどうか分かりませんが。

議長（雑賀会長）

河本委員さんの方から4つ質問といたしますか、お願いがありました。

まず1つ目の問2、問3それから問6の選択につきまして、1番の原因になっている理由を明らかに出来ないかということでしたけれども、そのあたりはいかがでしょうか。

河本委員

あえてリクエストをすれば、問2、問3は、いくつかのどういう回答が多かったということでも、おそらく把握はできると思いますので、どうでもよいといったら失礼なのですが、問6は、給食を残す理由が何かというところは、是非何か工夫してほしいなあと思います。

議長（雑賀会長）

今、問6に関して1番の理由というのが、分かるような手立てをとということで、先程クロス集計ということも出ていたのですが、そのあたりはいかがでしょうか。どのあたりとクロス集計をしていくのか、私も分からないのですが。

河本委員

可能なら問5と問6のクロスだと思います。

議長（雑賀会長）

次に、2つ目の問5の（2）と（3）のニュアンスの違いについてはいかがでしょうか。

事務局（山中課長）

問5の（2）の「ほとんど残さない」というのは、子どもが「残さない」とイメージしている時で、「ときどき残す」は「残した」とイメージしている時、言葉の違いで子ども達が判断できるかどうか分かりませんが、イメージがちょっと違っているつもりでした。

「毎日全部食べる」というのは、ほんとに全部を空っぽにしてくれること、「ほとんど残さない」というのは、いつもは食べているのだけれど、どうしても時間がなくて食べられなかったというようなことが、月に1回あったとか、その程度のイメージで書かせていただいているのですけれども、問5の（2）と（3）について、1つにした方がいいということでしょうか。

河本委員

いや、事務局の方で、何らかの意図があって、おそらく分けておられると思いますので、その意図は別に一緒にしてくださいというつもりもありません。ただ、読んでみて、その違いが自分にはよく分からなかったというぐらいのことです。

事務局（山中課長）

表現などをもう一度検討してみたいと思います。

議長（雑賀会長）

では、今、2つ目の点について、問5の（2）と（3）のニュアンスがもう少し分かりやすくとのことでしたので、なるだけ事務局が意図されているような表現になるように、また考えてみていただけたらと思います。

佐伯委員

それと、残す人の特に毎日残すという4番と5番というのは、やっぱり何か理由があるだろうなと思いますので、4番、5番の主たる理由というのは、知りたいなあというのが、気持ちとしてはあります。

これは、あくまでも個人の問題だから、理由もいろいろで、ばらつきはあると思いますが、調理するとか、提供する側として、毎日残す人の理由を知るのは、やっぱり大事かもしれないなあと思います。

議長（雑賀会長）

では、問6の方で毎日残す人の理由というのが分かるようにということでしたので、そのあたりの検討もよろしくお願いします。

それと、3つ目にありました、河本委員さんの方から出ました、(3)から(5)じゃなくて(2)から(5)ではないかということも、先程の事務局のニュアンスで分けて考えるということであれば、そのあたりが(2)からではなく(3)からというふうにもなるのかなあとと思いますけど、そのあたりは、また、考えていただけたらなあと思います。

それでは、4つ目の質問になります。問9の1「米子市でとれる産物を知っていますか。」というところで、もう少しよく取れるものというか、そういう表現等があればということでしたけども、いかがでしょうか。

事務局（野口課長補佐）

学校給食で使用する米子市でよくとれる産物というような文言を設問の最初の部分に入れるようにしたいと思います。

佐伯委員

たまに、小学生が産物って何ですかと聞くかもしれませんね。その時に教室にいる担任がこんなことだよと言ってあげると、そうなんだということになるかもしれませんね。

事務局（野口課長補佐）

産物の他に適当な言葉を思い付きませんでした。他に何かいい表現があれば、教えていただければと思います。

事務局（山下栄養教諭）

「産物」という言葉を小学5年生がどこまで分かるのかと迷いましたが、「食べ物」とするともっと広がってしまいます。「特産物」とするとイメージしやすいかとも思いましたが、産物と特産物は違いますし。19日に献立に取り入れるもの、ほんとは、例を入れようと思ったのですが。例えば、白ねぎとか、さつまいもとか、とってしまうと、ちょっと誘導的になってしまうということもありました。

そこで、文部科学省の「食に関する指導の手引き」を参考にしたところ、学年の段階的に低学年が食べ物を知っていますか、中学年が地域の食べ物を知っていますか、作られる食べ物を知っていますか。5年生で、地域で作られる産物を知っていますかという表現が使われておりますので、きっと、もう学習の中で教えてあるのではと判断してこの表現にしました。

先程の問のこともそうなのですが、子ども達によって判断の尺度が異なるので、アンケートをする時に、先生方に、こういう基準でというようなことを説明していただけるようなものを書いたものがあるのかなあと思いました。その方がアンケートの答えが統一になるのかなあと、アドバイスをいただきながら思いましたので、また、事務局で相談して作らせていただけたらなあと思います。

議長（雑賀会長）

では、事務局の方で、アンケートが分かりやすく、説明しやすくなるようによろしくお願いいたします。

では、その他、ご質問はございませんでしょうか。

増田委員

先程の話とだぶることもあるのですが、問5の「給食を残さず食べていますか。」ですけど、以前、学校の日参観の時に給食の様子を見に行っただけなのですが、その時に「いただきます」をしたら、「いただきます」をする前だったかもしれませんが、まず、減らす子がすごく多くいました。食べられないものは先に減らしてくださいという指導のようで、手を付ける前に減らす子がすごく多くいました。

理由は多分、苦手だとか、量が多いだとか、あるかもしれないのですが、減らした上で(1)の毎日全部食べられるのか、それでも時間の問題とかで残してしまうのか、というところで、もしここで、苦手なものがあったとしても食べてしまったら、先程の間6の方には進めないわけですね。苦手ものがあるけど毎日食べていけば、間6はスルーするので、減らしている理由が浮かび上がってこないのではないのかなあ。前もって減らす子ども達の意見をどこかでくみ上げることが出来ないのかなあと思いました。

議長（雑賀会長）

どうでしょうか。よく指導する側としては、自分の食べられる量をということを担任などは言いながら、自分で調整をしてしっかり好き嫌いをしないように食べようねっていうような指導は行うのですが、問5の給食を残さずというところで、減らすということについての対応といたしますか、そのあたりはちょっと難しいのかもしれませんが、事務局の方で何か考えていただけますでしょうか。

藤澤委員

あの、事務局というよりも学校の先生の方が理由を分かるのではないですか。様子を見て子どもが何で食べないのかとか、減らしているけど、それでもまだ食べられないとか。事務局の方は、多分、現場はそんなに、食べているところの子どもの様子などは分かりづらくて出されるかなあと思うので、案外、現場の先生達の方が、問5なんか工夫したら、答えが分かりやすいというようなところがあるのではないのでしょうか。

増田委員

先生への質問の間6にある、残す理由についてというのを、もう少し幅広くというか、給食を減らした子に対する対処というか、そのあたり、すいません、よく読んでいないのですが。

事務局（山中課長）

減らしますか、減らしませんかという設問を増やし、問6とクロス集計をさせれば、結果は出ると思いますので、全体の設問を一つ増やす方法でとらえるのが一つ。

あと、先程おっしゃっていただきましたように、先生方への質問の間6で判断するという方法の二つがございますけれども。

藤原委員

事前に減らすというのも、残すという範疇に入れたらいいのではないですか。教員がアンケートをする時に、子ども達に事前に多くて少し減らすという人も、毎日少し残すというのと同じだよ、と言ってやればいいのではないですか。

事務局（山中課長）

さっき山下栄養教諭が言いましたように、先生方にこういう指針でやっておりますというようなことで書かせていただいたりすると、アンケートがとりやすいのかなあというところもあります。

ちょっと持ち帰らせていただいて、より良いものにしていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。また、学校の先生方にもご協力をいただくようなことになるかもしれませんが、そちらの方もよろしくお願ひしたいと思います。

議長（雑賀会長）

では、減らす子がいるということの対応については、事務局の方で考えていただければと思いますので、よろしくお願ひします。では、その他に何かありますでしょうか。

佐伯委員

私が、今、思ったのは、最初に男女を聞くところがあって、男女でどういう違いが出るのかというところでは、量的なこととか、いろいろなことが出てくるのかと思うのですが、特に中学校で抵抗がある子どもさんがいる場合は、学校で判断してこの欄を止めることができるのかどうか。今はそういうことを大切にしようという時代になってきていますから。

事務局（山中課長）

アンケートの集計という点では、違ったものが出てきますと、全体的なものが見られないということが起こってしまいます。昨年から男女を入れさせていただいたということで、やはり男女の違いがものすごく大きい回答もございましたので、こちらにとっては、男女を入れていただくのが本当はありがたいと思っております。

佐伯委員

今は、制服とかも着たくないという子どもさんが、前にもいたのですが、そういう子どもさんに配慮するような時代にもなってきていますので、ちょっと、念頭にはおいておけばいいかなあと思います。

事務局（山中課長）

そうですね。中には、去年も男女に○をしていないペーパーもありました。特には何も指示をせずにやっていたというところではあります。

佐伯委員

何も書いてないものがあつたのだったら、それでもいいのかもしれないですね。分かりました。

議長（雑賀会長）

その他、ありませんでしょうか。

ないようでしたら、学校給食アンケートにつきましては、また、工夫をしていただく点を検討していただいて、実施するようお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

では、次に、(3) 給食試食に移る前に事務局から報告事項があるそうですので、よろしく願いいたします。

事務局（山下栄養教諭）

それでは、先程もありました食育月間から始めました、いきいき こめっこ プロジェクトについて簡単に説明させていただきたいと思えます

お配りしています「いきいき こめっこ プロジェクトの実施について」という資料を見ていただけますでしょうか。

[いきいき こめっこ プロジェクトの取組について説明した。]

議長（雑賀会長）

はい、事務局の方から「いきいき こめっこ プロジェクトの実施について」説明がありました。4つのことを頑張っていきたいというふうに考えておられるようですが、何かアドバイスとか、ここはどうでしょうかというようなことがあれば、お伺いします。

中山委員

いきいき こめっこ デーを立上げて、これをもっと深めていきたいということでしたが、一つの案として、今年でなく来年度ぐらいに、また、アンケートの項目に入れると、児童と

か先生とかに知らせることが出来るのではないかなあ、3年間なら3年間のアンケートを取り続けられればいいのではないかなあと思います。

あと、こういうことをもし入れるとしたら、今は5年生と中学2年生へのアンケートだと思うのですが、これを2年生、3年生ぐらいの子と高学年というふうに、1つ学年を増やしたら、回答としては違うアンケートになってしまうかもしれませんが、面白いアンケートが取れるのではないかなあというふうには思いました。以上です。

議長（雑賀会長）

今のご意見については、いかがでしょうか。

事務局（山下栄養教諭）

始めたばかりの取組で、まだ1回しか実施しておりません。その中でも課題がいろいろ見付かりました。

例えば、物資については、思った以上に今年は涼しい時が続き、急激に暑くなったので、予定していた地元食材が手に入らず、当日になって変更になったりしました。「いきいき こめっこ デーです」ということで、学校全体で盛り上げて取組んでくださった学校もあったのですが、それは一部でした。大きなポスターを作るなどして大々的にアピールする必要もあったのではないかなあということも栄養士の中で課題として挙がっていました。アンケートについても、児童生徒だけでなく、学校の反応も見ながら、項目だけでなく取り方も研究していきたいと思いますので、アドバイスをいただけたらと思います。

議長（雑賀会長）

その他、いかがでしょうか。

河本委員

最後のその他のところの方がいいかもしれませんが、まず、こういうことをされるのは大賛成です。で、されるにあたって、おそらくもうされていると思いますけど、校長会等で周知徹底を図られて、各学校で多少の温度差はあるにしても、年1回ではなくて毎月のことですから、継続的なバージョンアップを図られるようにもっていかれることが大事なかなあというふうに思います。

さらに言えば、市P連の方は何か関係があるのですか。

松田委員

関係と言いますと。

河本委員

市P連の委員会から、学校が指定されてここにいらっしゃっているのですか。

松田委員

はい、そうです。

河本委員

とすると、年4回、委員会がありますよね。そういうふうなところで、各単Pの方に、米子市で今こういうことをやっているというのも、併せて広めていただければなあと思います。

この前、市長さんが明道小学校で給食を食べておられるのをテレビで見ましたが、去年度の2月の最後の会の時に説明された30年度の事業計画にはこういうことをされるというのは書いてなかったので、おもしろいことをされているなあと思いました。

単発ではなくて、そういうバックアップで市P連なんかも積極的に活動していただくというふうになると、また、いろんな意味で、米子もこれだけお金を投資してこんな新しい場所

が出来ていますので、いい具合に回っているのだなあというのが、保護者の方にも市民の方にも見えやすいかなあと思いますので、もし可能であれば、そちらの方も働きかけていただければ、ありがたいなあと思います。

事務局（山中課長）

ありがとうございます。手探り状態で始めたもので、なかなか皆さんに周知が行えなかったところがありまして、申し訳ございません。

PTA联合会さんや、学校にもご協力いただいて、どんどんこれを進めていけたらなあと思っております。よろしく願いいたします。

議長（雑賀会長）

その他には、よろしいでしょうか。

では、このプロジェクトがさらに発展していくように、協力できるところはしていけたらと思っておりますので、よろしく願いいたします。

では、次に進みます。続いて、(3)の給食試食に移ります。

事務局（山中課長）

資料の最後に、献立表を一枚入れております。四角く囲っておりますけれども、本日の献立は、パンの日ですので、コッペパンと牛乳、天の川スープ、お星さまハンバーグ、星空サラダ、七夕ゼリーでございます。

先程、調理の時に見ていただきましたけれども、星空サラダにつきましては、乳のアレルギーの対応食となっております。この対応食ですが、見ていただいたとおりの釜で調理したものの中から抜き取って作ります。で、対応食でない一般のものには、プロセスチーズをその後に入れて提供しております。皆さんに喫食していただきますので、よろしく願いします。

また、この後に、試食のアンケートを配らせていただきたいと思っておりますので、食べられた後、記入していただくとありがたいと思っております。

そうしましたら、給食の準備ができますまで、先程説明いたしました資料の方をご覧になってお待ちいただきたいと思っております。

[給食を試食しながら、意見交換が行われた。]

事務局（山中課長）

そうしましたら、机の上にアンケートの用紙が置いてありますので、記入していただければと思います。

議長（雑賀会長）

まだアンケートを書いていた最中の委員さんもいらっしゃいますけれど、会の方をいったん閉めさせていただいて、その後、またアンケートを書いていただくようにさせていただきますので、次の議題の(4)その他に入らせていただこうと思っております。

事務局の方から何かございませんでしょうか。

事務局（山中課長）

事務局の方からは特にございません。

議長（雑賀会長）

そうでしたら、事務局から何か連絡事項はありますか。

事務局（山中課長）

そうですね、そうしますと、連絡をさせていただきたいと思います。次回の運営委員会ですが、毎年は2学期の終わり頃に開催させていただいておりましたが、今年度から年3回の開催とし、2月末か、3月の初め頃に開催を予定しております。ご参加いただきますよう、よろしく願いいたします。

議長（雑賀会長）

では、以上をもちまして、平成30年度第2回米子市学校給食運営委員会を終了させていただきます。お疲れ様でした。